

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られ情報を
使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはあり
ません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠
慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、
研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切あり
ません。

思春期特発性側弯症患者への改良型大阪医大式（OMC）装具治療成績の検討
従来型 OMC 装具との比較

1. 対象となる患者さん

2014年10月から2022年12月に当院整形外科を受診した思春期特発性側弯症
患者のうち装具療法を行った患者さんを対象とします。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学付属病院 整形外科 撫井 貴弘

3. 研究の目的と意義

装具治療は側弯症進行防止に重要です。当院は思春期特発側弯症に、硬性側具の
大阪医大式（OMC）装具を用いています。過去に OMC 装具について患者アンケー
ト調査を行い、①装具着用が難しいこと、②装具による肌トラブルが明らかとな
ったため、改良を行いました。改良点は①骨盤固定ベルトの前面化、②腋窩パッ
ド素材の変更、③装具の軽量化です（改良型 OMC 装具）。2020年1月よりこれ
を使用しています。本研究の目的は、改良型 OMC 装具の治療成績を従来型と比較
検討することです。意義は側弯症装具治療成績の向上を図ることです。

4. 研究の方法

従来群 OMC 装具と改良群 OMC 装具の悪化の割合の比較を行います。

5. 使用する情報

X線画像、カルテ記載データを使用します。

下記の臨床情報を収集します。

装着した装具の種類、患者背景 年齢・主カーブ・初潮からの経過・骨成熟度
(Risser 分類、DRU 分類)

画像評価 初診時・装具着用直前の Cobb 角・装具装着での矯正率・立位と仰臥
位変化による柔軟性・装具終了後の Cobb 角

装具治療評価 装具着用期間・着用時間

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学付属病院 整形外科 田中 康仁

7. 外部機関への情報等の提供

なし

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026 年 12 月 31 日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前
や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。
また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表し
ません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学付属病院 整形外科 撫井 貴弘

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051（代表）